

学習指導案

- 1 時程：1 時限 50 分×4 時限の場合（4 時限での実施を推奨）
- 2 場所：各高等学校 体育館、技術室、教室等
- 3 生徒：高等学校生徒
- 4 教科：「美術」または「総合的な学習の時間」
- 5 題材名：『JOMON GYOMO を編む - 植物繊維を素材とした漁網作品制作 - 』
- 6 使用物：糸縫り&編み方プリント、苧麻、網制作用治具、水、バケツ、絵具バケツ、ハサミ、雑巾等
- 7 題材について：

（題材観）

「青森だからこそできる主体的で対話的な深い学び」をめざすには、どのような題材が考えられるか。青森が世界に誇る縄文文化を活用して、日本文化の源である縄文文化についての理解を深めることでそれに応答したい。縄文時代は、縄の字に代表されるように繊維を使った多くの工夫が生活の中に根ざしていたと考えられている。特に三内丸山遺跡から出土した「縄文ポシェット」のような植物素材の出土品は全国的に事例が少なく大変貴重であり、このことから植物繊維による編み技法を学習する意義は深いと考える。

（生徒観）

将来の青森県を担う子ども達が、地域の文化・芸術の魅力やその価値への認識を深め、地域に対する誇りや愛着を持つ心をより一層育むことのできる体験学習としたい。

（指導観）

二人一組での制作による「糸縫り」作業や個人での「JOMON GYOMO(漁網作品)」制作を通して、他者と協働しながら物を創り上げていく達成感や、縄文文化の認識を深めることで育まれる郷土愛と自己肯定感が得られるような体験学習としたい。また、県内の生徒たちとの協働制作によって巨大な漁網作品をつくり、保護者、地域住民たちと地引網漁をして海の幸を食すという壮大な計画の一翼を担うという意識を持って、彼らの真剣な取り組みを期待し、創造的活動を通じた「つくる喜び」を体感させたい。

8 題材の目標

生きる知恵や固有の造形力がふんだんに盛り込まれている縄文文化（植物繊維による編み技法）を学ぶことで、予測困難な時代を生きていくために必要な豊かな創造力や、他者と協働して課題を解決していく力を身につける。

9 題材の評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	・手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
思考力・判断力・表現力	・素材や形の特徴を基に、創造的に発想や構想をしたり、造形的なよさや美しさ、表し方などについて考えるとともに、素材の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	・目標とする完成イメージに向けて、妥協せず取り組む真摯な姿勢を持とうとしている。つくり出す喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。作品に対する自分の見方や感じ方を深めたりしている。

10 題材の指導・評価計画（全4時間）

時間	展開	学習活動・学習内容	教師の指導と留意点	評価基準及び努力を要すると判断される児童への手立て
1	1分	○出席確認・講師紹介	苧麻を水に浸しておく。	
	導入 14分	○課題の把握 ・縄文文化財の鑑賞 ・課題の提示と説明	縄文文化の美しさや重要性を感じとらせる。 縫り方を実演する。	【主体的に学習に取り組む態度】縄文文化や生活に関心を持ち、主体的に制作の構想を練ろうとしている。 【導入動画】を視聴 https://youtu.be/pIMAQvq14Yo
	展開 1 35分	○糸縫り作業※ペア作業 繊維を2~3mmに裂く。 2人で時計回りに縫る。 2本重ねて反時計回りに縫り、片方の端を結ぶ。	「糸縫り」手順書を参照しながら説明する。 正しい回転方向で縫らないと糸にならないので、回転方向を常に確認する。	【知識技能】素材の特性・用具・工程を理解している。 制作方法の理解が足りない場合は本人の前で実演して補助する。 ○【糸縫り説明動画2人 ver.】を視聴 https://www.youtube.com/watch?v=bLltm7_w7ZI
休憩 5~10分				
2	展開 1 20分	○糸縫り作業 一人8~10本程度つくる	【糸縫り説明動画】をループで流し続ける。 回転方向を常に確認。	【知識技能】用具や工程等を工夫し、表現しようとしている。
	展開 2 30分	○編み作業 ・網を編む	「編み方」手順書を参照しながら説明する。 編み方動画を見せ、実演する。	【知識技能】用具や工程等を工夫し、表現しようとしている。制作方法の理解が足りない場合は本人の前で実演して補助する。 ○【編み説明動画】を視聴 https://www.youtube.com/watch?v=ZobBPRvYMMg
休憩 5~10分				
3	展開 2 50分	○編み説明動画をループで上映する。 編み作業の続き ・網を編む。 作品完成	「編み方」手順書を参照しながら説明する。 理解不足の場合は助言。各方法を示し、どう表現したいかを問いかけ、考えさせる。	【思考判断表現】完成のイメージを強く持って作業している。制作方法の理解が足りない場合は本人の前で実演して補助する。
休憩 5~10分				
4	展開 3 40分	○オリジナルトートバッグ制作 ・各自制作した網を版としてトートバッグづくり ・染料付け、ローラー押	各方法を示し、どう表現したいかを問いかけ、考えさせる。	【思考判断表現】完成のイメージを強く持って作業している。制作方法の理解が足りない場合は実演して補助する。 ○【プリント動画】を視聴 https://youtu.be/h8FogR3BGMI
5	まとめ 10分	○鑑賞会 講評 ○まとめ動画を視聴 ・制作意図や感想の発表。 ・他者の発表を聞き、多様な考えや表現を理解する。 ・協働制作品用として提出	制作意図や感想の発表を促す。 縄文文化の素晴らしさや学びの意義について伝える。	【主体的に学習に取り組む態度】生徒が作品と対峙し、自作を言語で表現しようとしている。他者の考え方や表現を理解し、自分との相違を感じとれている。 【まとめ動画】 https://youtu.be/v7beXoMNtic